

## 【22\_309思考系メルマガ】チャートと大衆心理

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

僕はこれまでのメルマガで「大衆心理」というキーワードでトレードについて議論をしたことはほぼなかったと記憶しています。

それは、多分長いことメルマガを読んでくださっている皆さんも同様の認識だと思うのですが

先日、ある読者の方からこのような質問を頂きました。

▼メール▼

[https://kuro-gaki.com/muhai\\_saisoku/others/2022-11-03.png](https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-11-03.png)

結論から言うと、僕はチャート分析において「大衆心理」なるものを、トレードの意思決定に関与させることは一切ありません。

理由は単純で、「その事実をチャートから“正確に”読み取ることは困難だから」です。

例えば、チャート解説をしている発信などは僕もよく見かけますが

そこで語られる「この上げで買いが厚い。。。」とか「損切を巻き込んだダマシが。。。」といった話

これ、チャートの値動きだけでその背景・事実を断定できるのか？という事です。

似たような動きでも、その日その時の分析によって解釈が変わってしまったりしては

その分析に一貫性を保つのは難しくなるし、むしろ余計な情報が加わることによって

余計にトレードの判断が難しくなるだけです。

それならば、あくまで僕らはテクニカル分析を軸にしてトレードスタイルを構築しようとしているわけですから

『起こった事実＝過去の値動きの結果』にのみフォーカスし、その動きから自分の認識できる規則性をルールとして

確率論的に期待値が1以上になるトレードを行う事。

そこだけを徹底するのであれば、「大衆心理」といった

言ってしまうと観測者の「想像」の域を出ない曖昧な情報に頼る必要など無いはずなのです。

これを言ったら怒られてしまうかもしれませんが

この「大衆心理」というワードを使うのは、トレード自体でというより

発信者がもっともらしく「チャート解説( )」をするのに、ある意味都合がいい道具なんだろうなと思っています。

そういったワードをちりばめることで、ただ普通にチャートの値動きを解説するより

少し説得力が増す(ように見える)し、それによって聞き手が「なんかすごい」と思ってくれる率が上がるからです。

この手の背景を武器にトレードを実際にやっている人(かつ、それで利益を出している人)はゼロではないと思いますが

僕はそのレベルで情報を取れる人は極々限られた人だけだと思っています。

そんな入手難易度の高い情報に頼らずとも、一貫した【型】で確率論的思考を持ってトレードすれば

それだけでも安定して稼ぐトレードは出来るわけですから

「自分が相場に対する理解を難しくするようなアプローチ」をしない方がより効率的ではないだろうか？

というのが、僕の考えです。

もちろん、これが唯一絶対のただしさではない事も理解はしていますが

僕自身、自分の「大衆心理と絡めたチャートの値動きに対する理解」を十分にできると思えない以上

ならば確実に得られる情報に基づいて、常に一貫した判断ができるように訓練を重ねた方が時間も資金も無駄にせずに済むよね、と思っています。

毎度、ワクワクをぶち壊してしまうような話ばかりで申し訳ないのですが

相場で勝ち残れる人は、究極なまでのリアリストだけだという持論もあるので

その点を了解いただけると嬉しく思います。

ですが、ここまでこのテーマで自分の考えを言語化したことはなかったので

今回は自分の考えを改めて整理する、良い機会を頂きました。

質問者さん、本当にありがとうございました。引き続きよろしくお願いします。